

工具は手の延長であり、一生モノにもできます。ジュニア選手に個人で揃えてほしい最小限のマイ・ツールを紹介します。

1 はじめに

工具など触ったこともない初心者も、工具を頻繁に使う職業につくわけではない人も、ロウイングで、基本工具の扱いを身につけておくのは素晴らしいことです。将来、何かの役に立つ準備になるでしょう。良い工具を駆使する(手に馴染ませる)ことは、安全性の向上にも欠かせません。選手には、自分でお金を出して自分の工具を購入し、活用することを勧めます。卒業時には、それをそのまま自分のものとして持っていけるでしょう。

工具には、一つずつ目印やネームを記し、所有者が判るようにしておきましょう。工具箱を用意し、整理して使いましょう。

2 選定条件

選定条件として、以下のような要素が挙げられます。考えようによっては、相反する要素を含み、結構難しい工具選びになるでしょう。

- C1 基本のリギングができる品揃えであること。
- C2 工具の数は最小限とし、安価であること(約1万円以下)
- C3 普通のホームセンターで購入可能なこと。
- C4 卒業後も汎用工具として、永く利用できること。

3 選定リスト

□コンビ・レンチ(8-17mm)	×1組	¥578
□(ラチェット・レンチ)(10mm)	×1本	¥548
□(ラチェット・レンチ)(17×19)	×1本	¥998
□モンキー・レンチ(24mm)	×1本	¥1,880
□プライヤー(165mm)	×1本	¥880
□六角レンチ(5~10本組)	×1組	¥378
□トルクスドライバー T-20	×1本	
□ドライバー(+) <u>No. 3</u>	×1本	
□ドライバー(+) <u>No. 2</u> ・100mm	×1本	¥576
□ドライバー(+) <u>No. 1</u> ・75mm	×1本	¥357
□ドライバー(-)6mm	×1本	¥576
□カッター(L)	×1本	¥428
□メジャー(22mm×3.5m)	×1個	¥798
□水準器(レベル)	×1本	¥880
□傾斜計(スラント・ルール)	×1本	¥1880

(価格は、09~16年、DIY等での購入実績、ネットショップでの参考値)

以上の13点で約1万円です。以下に、各工具を説明します。ここで紹介したセットが唯一最良・最安価というわけではないし、同等機能で財布と相談しながら、別のより好ましい選択肢もあるでしょう。これら全てを一度に準備するのが難しければ、最低限、下線のあるものをまず確保し、他は、クラブ共用の工具や友達から借りても良いでしょう。できることから始めましょう。

4 レンチ (スパナ)

Wrench / Spanner

レンチは実に多様ですが、リギングでよく使うのは、10、13、17、19mmです。バックステイに、21mm(2本)が必要なことがあります。本当は全サイズを2セット用意したいのですが、まずは

6本組1セットとし、後述のモンキー・レンチの追加でしのぎます。

4.1 コンビネーション・レンチ

レンチには、メガネ(ボックスエンド)、両口(オープンエンド)などもありますが、両端が同サイズのコンビネーション(=片目片口)が最も使いやすいです。8、10、12、13、14、17mmの6本組が一般的です。



補足:他に7mmと19mmを加えればさらに良いのですが、ここでは省略。モンキー・レンチでの代用を想定しています。

4.2 ラチェット・レンチ

リガーボルト着脱の迅速化のために、10mmのラチェットを追加します。写真は8mmとのコンビですが、10-13mmの選択もあります。写真では判りにくいけれど、フラット(ストレート)よりも、このような「角度つき」が扱いやすいです。



オールロックアセンブリやソールピン着脱を速くするために、17-19mmのラチェット・レンチを1本加えまると良いでしょう。柄が長くて力を入れやすいものを選びます。19mm×21mmのメガネレンチの追加も良い考えです。



4.3 モンキー・レンチ

モンキー・レンチは、フリーサイズで便利ですが、メーカーによって品質差が比較的大きく、使用方法にも注意が必要です。半面、インチサイズへの対応、独立性、他には使うことの少ないだろう21mmの削減対応も含め、0-21(～24)mmまで使えるモンキー・レンチをリストに加えしました。製品例:ロブスターUM24(開口24mm、L150mm)以下の写真はUM30



5 プライヤー(スリップジョイントプライヤー)

Pliers

基本中の基本、プライヤーは欠かせません。スリップジョイントの(全長)200mmクラスが良いでしょう。初心者はこの工具の名前を知らないケースが多いようです。



6 六角レンチ

Hex Key Wrench

よく使うのは6mmですが、安価なのでセットものも良いでしょう。よく使う4mmと6mmは、どのセットにも入っています。写真は、10本組(1, 5, 2, 2.5, 3, 4, 5, 6, 8, 10mm)です。一端がボールタイプになっているものを推奨します。



7 トルクスドライバー

Torx driver T-20

オールグリップやシューズなどに、星型の孔のトルクスネジが増えていきます。サイズ:T-20のドライバーかL型レンチを持っておきましょう。



8 ドライバー

Screw Driver

ねじ回し(ドライバー)にも多様なタイプ・サイズがあります。基本のセットとしては、+(プラス):No. 1(少し小さいもの), No. 2(普通のサイズ), No. 3(大きなサイズ)と、-(マイナス)の普通サイズの4本です。グリップの太いものを選びましょう。



なお、グリップ一つで、ビット(先端)を色々差し替えるタイプは、あまり推奨できません。(ビットの紛失に注意!)

9 カッター

Cutter Knife

やや大型(Lサイズ)のカッターを用意します。刃の固定は、オーソドックスなネジでロックするものを選びましょう。



10 メジャー

Tape Measure

スカルのスパンや、スリーブのオール全長が測れるように、4m以上は欲しいところです(写真は5.5m)。スパンの計測がしやすいように、伸ばしても中折れしにくい「幅広」(22~25mm)で、ストップ付きのものを選びましょう。



11 水準器

Level

水平を見る水準器。多様な種類があって比較的値段も安く、それぞれ使えますが、基本の1本は、1×のレールにも横断方向に載せられる様に、比較的短いもの(230mm程度)を薦めます。気泡部分が大きく読みやすく、できるだけ精度の高いもの(パッケージに表示)を選びましょう。



12 傾斜計(スラントルール)

Pitch Gauge

単純な気泡式の傾斜計が良いです。ダイヤル式のものには初動感度が悪く、リギングには使えないものが少なくありません。また、ロウイング専門のものもあるが、場合によってはかえって使いにくいこともあります。

